

# 本山町 議会だより



高知県長岡郡本山町議会

vol. **184**

平成 29 年 5 月 10 日発行

本山町議会だより

第184号



「お酒が美味しい」桜も笑顔も満開

今回の主な内容

第1、2回臨時議会、 第3回3月定例会……………	2	一般質問……………	8
審議した議案一覧……………	5	委員会報告……………	18
町長行政報告……………	6	いきいきインタビュー（第4回）… 橋本信与さん（四区）	20

発行／高知県本山町議会 発行責任者／議長 岩本誠生 編集／広報編集委員会  
〒781-3692 高知県長岡郡本山町本山504番地  
電話／FAX（0887）76-2130

## いきいきインタビュー

春雨に桜の舞う中、今回は大阪から移住された橋本ファミリーにお話を伺いました。協力隊卒業後も原木椎茸などを栽培されています。



▲左から橋本信与さん、芽依さん、佐智子さん

最近双子の赤ちゃんが生まれたそうです。

**高知がいい**  
きっかけは、「遅咲きのヒマワリ」というドラマ。高知っていいねとご夫婦で話され、大阪での移住説明会に参加し、勧められて本山体験ツアーに。

**子育て環境**  
点数をつけるとしたら、75点。生徒数が少ない分、先生の目が行き届いているのはいいが、習い事や、クラブの選択肢が少ない。保育所で

のお友達が、小学校で離れて寂しいので、もっと交流があればなあとのこと。保育料を安くしてほしい、病児保育の充実、安全に遊べる公園が少ないなど、感じられています。チャイルドシート

色々な問題を提起してくださった橋本さん。ご家族が笑顔で、本山に来てよかったと言ってもらえるような町づくりを目指す思いを新たにしました。

矢先、協力隊の募集があり移住を決意。

### 住んでみて

市内へは1時間で行けるし、交通の便は良い。コンビニが24時間じゃない事にびっくり。

住んでる所も平屋の一軒家で、子どもが騒いでも叱らなくていいので、ストレスも減少。



▲新人協力隊員に指導中

の無料貸し出しは有り難かったです。

### 5年経って

椎茸菌にこだわり、少し高くて美味しいものを提供しようとしているが、なかなか売れない。サツマイモ栽培にもチャレンジ中。

子どもも3人になり、養って行くには安定した仕事がほしい。地域に恩返しをしたい。そのためには、就農するため土地を提供してもらえれば…とのことでした。

# 平成29年度一般会計総額 44億3000万円

平成29年3月定例会は、7日から16日までの会期で開かれ、平成29年度一般会計予算、平成28年度各会計補正予算、条例の制定・改正など全会一致で可決した。（議案一覧をP5に掲載）

一般質問（P10から関連記事）は、10人の議員が町の課題について執行部の考えをたずねた。

定例会の内容は、注目度が高い新年度予算の質疑を要約したものを掲載します。※同日発行の「広報もとやま5月号」に本山町の家計簿記事も掲載されています。

### 議案審議

#### 議案第25号

#### 平成29年度一般会計予算

平成29年度の主な事業（事業費1千万円以上のものを掲載）

【議会費】  
5896万5千円

【総務費】  
14億2949万5千円

【民生費】  
7億5321万1千円

【衛生費】  
5億9041万7千円

【農林水産業費】  
2億6824万4千円

【商工費】  
4631万5千円

【土木費】  
5億6221万8千円

【消防費】  
1億2768万9千円

【教育費】  
2億3880万9千円

【災害復旧費】  
4千円

【公債費】  
3億4788万8千円

### 質疑

#### 【総務費】

問 旧土木事務所を取り壊す予算として1000万円とあるが、事務所内に保管している資料や消防車の移転先はあるのか。

答 資料の移転先は検討をしている。消防車は中央分団で継続使用するか検討する必要がある。

#### 【用地購入事業】

問 520万円。場所はどこか。

答 残土置きのため寺家地区の山林を購入予定。

問 町有地など他に残土置き場はないのか。現状の松島用地にも置いているが。

答 町内事業や水資源機構のダム延命化協力依頼もあり、新たな残土処理場が必要。また、松島も残土を移動させないと利用ができない。

問 ふるさと納税額は伸びたが、他町村に劣るように感じる。更なる商品の充実を。答 検討していく。

問 集落活動センター推進事業500万円は。答 汗見川集落活動センター。

問 リハビリキッチン事業委託料1790万円は。答 現在4カ所で実施。四区地区がモデルケースになっている。

問 現在A.L.Tが2名だが、夏に1名帰国する。答 内容は。

問 文化財保護事業の内容は。答 維新博に関係する事業。参勤交代道や大原文学館周辺を対象に。



▲ふるさと納税でも本山の美味しい恵みを

問 移住者等定住支援事業・改修補助金は、1件に対する補助率を今後研究すべきでは。答 住宅改修は現在40万円補助率は拡大している。

問 地方創生推進交付金事業 車両購入費1千万円はどのように活用か。答 アウトドアの里事業に使用。補助金申請の関係で29年度予算に計上している。

【民生費】  
問 住宅新築資金等貸付事業対策費は現在も新規貸し付けがあるのか。答 貸付金未納分への督促、催告費用で、新規にはない。

【農林水産業費】  
問 産業振興センター指定管理料が増額している。理由は。答 リース物件の削減があったが電気料が



▲有害獣防護柵（古田）

問 有害獣防護柵設置事業で要望の状況は。答 お待たせしている状況にはなかったと認識。

【商工費】  
問 白髪山・工石山の研究経費があるが。

問 農地を守る取り組み。青山ファーマーズマーケットへの出店経費など。

問 農村集落活性化支援事業の貸付金は協議会のみが対象か。集落組織は。貸付の利子や仕組みは。

答 農村集落活性化協議会のみ対象。無利子。今年で3年目。運営資金であり、返還を要する。

答 有識者によるガイド育成研修等の経費。

問 日本で最も美しい村連合加盟の効果は。

答 本町の地域資源の次世代への継承と見直しを進め、加盟を意味あるものにした。

#### 【土木費】

問 河川費がゼロだが、要望ある限り残すべきではないか。答 河川改修の要望はあるが、事業対象になる規模に達しておらず、手づくり事業で対応してもらう。

問 木造住宅耐震事業での診断件数は何件を想定か。答 耐震診断100件、耐震改修50件、耐震設計50件を想定している。

問 住宅建設費 保障補填及び賠償金が375万円とあるが

問 外国青年招致事業費が減少しているが理由は。

## 本山町議会 臨時会

平成29年  
第1回臨時会  
1月11日開会。補正予算1件を可決。

平成29年  
第2回臨時会  
1月28日開会。工事請負契約の変更について2件、工事請負契約について1件を可決。

# 嶺北広域事務組合議会

## 平成28年 第4回定例会

給食センター改築  
入札は不落で、平  
成30年度に延期の  
見込み  
し尿（衛生セン  
ター）処理方針は、  
来年度に決定  
いの町が平成29年  
3月末、当組合を  
脱退の意向

に伴う建設工事の再見積り費用で、20,000千円の追加、建築工事中止に伴う236,000千円の減額。  
また、管理者の行政報告及び総括質疑答弁内容の概要は次のとおり。

①いの町は平成29年末、当組合を脱退する意向。議会に対する報告が遅れたことを陳謝する。  
なお、平成28年度の町村負担金については、再度幹事会で協議する。

12月21日開会。  
議案は、平成28年度一般会計補正予算（第3号）の専決処分  
の承認と平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定の他6議案が提出され、全議案を全会一致で承認された。  
主な補正は、給食センターの入札不

②本年度建設計画の給食センターは、資金調達の目途が立たないため、平成30年度建設に向けて取り組んでいる。給食は安全管理



▲改築が急がれる嶺西給食センター

③築35年の衛生センターについては、後1年、改築か他の広域に参加するかを含め、検討したい。

## 平成29年 第1回定例会

清掃センター施設  
の機能回復と延命  
化対策及びCO2  
削減工事（本年4  
月1日～平成30年  
3月31日）  
衛生センターの処  
理方法は連携中  
都市圏協議を含め  
検討

3月27日開会。

議案は、嶺北広域行政事務組合負担金条例の一部を改正する条例の専決処分の承認1件と嶺北広域行政事務組合職員定数条例等の一部を改正する条例、平成29年度一般会計予算など13議案が提出され、全会一致で可決・同意された。  
本定例会における管理者の行政報告など主な内容は以下のとおり。

①いの町は、本年3月31日をもって嶺北行政事務組合を脱退する

②平成29年度に行う清掃センター基幹的設備改良工事に掛かる負担金は、いの町が28年度末に脱退することから条例を改正。

③最終処分場は、現在75%。約7、8年後には満杯の見込み。

④大豊園の民間移譲に伴う退職者（10名）及び配置換え（7名）に伴う条例の改正及び予算補正。

⑤給食センターの改築工事は、平成30年改築に向けて進行中。  
⑥教育委員会委員の任命について  
澤田智則氏（土佐町）  
任期  
平成29年4月1日～  
平成31年3月31日  
任命に同意。



▲改修される清掃センター

# 全会一致で可決した議案

## 平成29年 第1回臨時会

◎平成28年度本山町一般会計補正予算（第6号）

◎工事請負契約の変更について 2件  
◎工事請負契約について

## 平成29年 第3回定例会

◎本山町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の制定について  
◎本山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

定について

◎本山町お試し滞在施設の設置及び管理に関する条例の制定について

◎本山町個人情報保護条例の一部を改正する条例

◎本山町有住宅等使用料条例の一部を改正する条例

◎本山町税賦課徴収条例の一部を改正する条例

◎本山町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する

◎本山町水道給水条例の一部を改正する

◎本山町奨学金貸与条例の一部を改正する

◎本山町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正す

る条例

◎本山町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する

◎本山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する

◎本山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する

◎本山町移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する

◎本山町ひとり親家庭医療費助成に関する条例を廃止する

◎平成28年度本山町一般会計補正予算（第7号）

◎平成28年度本山町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

◎平成28年度本山町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）

◎平成28年度本山町後期高齢者医療保険事業特別会計予

算

5号）

◎平成28年度本山町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第2号）

◎平成28年度本山町居宅介護支援事業特別会計補正予算（第1号）

◎平成29年度本山町一般会計予算

◎平成29年度本山町汗見川へき地診療所事業特別会計予算

◎平成29年度本山町簡易水道事業特別会計予算

◎平成29年度本山町介護保険事業特別会計予算

◎平成29年度本山町通所リハビリテーション事業特別会計予算

◎平成29年度本山町後期高齢者医療保険事業特別会計予

算

◎平成29年度本山町居宅介護支援事業特別会計予算

◎平成29年度本山町病院事業会計予算

◎本山町公の施設の指定管理者の指定について（東部コミュニティセン

ター）

◎本山町公の施設の指定管理者の指定について（三寄集会所）

◎本山町立国民健康保険嶺北中央病院第三次経営健全化計画の策定につ

◎和解及び損害賠償の額の決定につ

◎町道路線の廃止について

◎町道路線の認定について

◎本山町監査委員の選任について

◎定住住宅整備事業のため財産を減額して貸し付けることについて

◎工事請負契約の変更について 4件





今西芳彦 町長

### 平成29年度予算

各会計当初予算の総額は、一般会計44億3000万円、前年度当初比9億4000万円、17.5%の大幅な減額、特別会計の総額は、16億1600万円、前年度当初比3300万円、2%の減額となっています。

### 本山町ひと・しごと・まち創生総合戦略

地方創生推進交付金を活用した「基盤産業ブランド力連携プロジェクト」では小規模林家・自伐林家等の支援を推進。「四国のおてっぺん」アウトドア活動」では、嶺北4町村で地域・自然活用型アウトドア活動を推進します。

「リハビリキッチン」による住民満足度向上プロジェクト」では、モデル地区で健康づくりの事業効果を表す数値化などの調査・研究を計画しています。

### 創生総合戦略は、

「本山町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」において、推進管理を徹底し、「本山町まち・ひと・しごと・創生総合戦略推進委員会」で施策等の効果検証を行い、必要に応じて施策のバージョンアップを図りながら、行政・住民の総合力で着実な成果に繋がっていきます。

### (市街地活性化の取り組み)

中心市街地の活性化は、これまでも住民参加で取り組まれましたが、空き家や空き地も目に付くようになり、市街地に「集落活動センター」設置や新たな「まちなか再生計画」の必

要性が指摘されるようになり、住民参加で考える「市街地再生プロジェクト」を立ち上げた」と考えます。

### 産業振興計画の実行

第3期高知県産業振興計画が4月から新しいバージョンとなります。それに伴い嶺北地域アクシヨンプランも見直しが行われました。

嶺北地域アクシヨンプランは23項目の課題・目標に取り組み、本町は17項目に取り組んでいます。

また、広域観光では、「白髪山八反奈路」、「奥工石山の紅簾石」の天然記念物としての保護や観光客の安全面などに配慮した整備とガイドの育成に取り組んでいます。

### 農林業の振興

農業、農村を取り巻く状況は、農家の高齢化などによる耕作放棄地が増加しており、担い手の確保

や若手農業者の育成が急務となっています。事業の取り組みとして、色彩選別機を農業公社に増設し、付加価値をつけ所得向上を目指します。

その行程として、基盤の整備を図り、労働力の軽減や鳥獣被害の防止策を講じ、生産意欲の向上に繋がっていきます。

### (林業振興策)

森林整備の担い手であった自伐林家が高齢化と後継者難により減少しており、それを補完する地域の林業事業体も、集約化による森林経営計画の作成に労力が取られる中、間伐等の森林施業推進と木材生産量の増大が大きな課題となっています。

「本山町ひと・しごと・まち創生総合戦略」の林業分野では、「林業育苗ハウスの整備」「原木生産の拡大」「小規模林業活動の推

進」各事業の実施が基本計画の中に定められています。本年導入する「森林ICTプラットフォーム」は、これらの施策の実効性を高めるために行われるものであり、集約化の推進、森林施業面積・木材生産量の増大を目指します。

### 健康長寿のまちづくり

#### (1) 嶺北中央病院

本院は嶺北地域における人口減少に伴って外来、入院患者数が減少しており、大変厳しい収支状況となっています。今後は、地域の医療需要に合わせた病床規模・機能の変更という将来を見とおした方策が必要であり、現在の病床数111床を99床へと削減を行います。

また、本年3月に策定する「第三次経営健全化計画」を病院関係者間で共有化し、全職員で計画

の実現を目指します。

### (2) 地域包括医療・ケア体制の充実

自立して暮らすことができるよう健康寿命を伸ばす取り組みを推進します。高齢者福祉は、介護が必要な状態になっても、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的に提供できる地域包括ケアシステムを推進します。

4月1日から「総合福祉ゾーン天空の里」が開所します。地域の住民の方々に充実した在宅・設サービスが提供されるよう「社会福祉法人」と連携した取り組みを進めます。

本年度は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画第3期障害者計画・第5期障害福祉計画の見直し時期であり、本町の現状をしっかりと捉えた計画策定に取り組みします。

### (3) 少子化対策の強化

地域ぐるみで安心した出産、育児が出来る本山版ネウボラとして切れ目のない母子保健支援体制の充実に向けた取り組みを進めます。

また、乳幼児健診を中心に、健康管理および保健指導を関連職種と連携した療育相談を行います。引き続き子どもの医療費助成は、高等学校卒業時まで助成します。

### 交流人口の拡大・移住・定住の促進

#### (1) 地域観光拠点施設(アウトドアビレッジ)の誘致

来訪者と地域の交流の場として、アウトドア拠点施設を整備し、交流人口の拡大と雇用の創出・経済活動の活性化を目指します。

この取り組みは、高知県の積極的な支援と国の地方創生事業と共に、嶺北4町村とアウトドア活動

で連携するなど、効率のよい事業推進に取り組みます。

本年度、町内交流活動団体や各種団体とも協議を進め、町内でのガイド養成や資源の磨き上げなど、地域の皆さんと共に取り組みを加速して進めます。

### (2) 移住対策

移住者対策は、県、他市町村と連携した移住相談会の開催や地域の受け入れ体制をさらにレベルアップする必要があります。

移住希望者への情報発信など丁寧なアプローチに努めます。また、県内外からの事業所の誘致によるIUターン者への職場の創出、移住者住宅の確保に取り組めます。

### 安全・安心のまちづくり

#### 南海トラフ地震対策

住宅の耐震化を最優先に取り組みます。引き続き、災害に

強いまちづくりのための基盤整備を進めます。

### (1) 町道本山三島線「土佐本山橋」

町道本山三島線土佐本山橋架け換え工事は、ニールセン形式のアーチ橋による上部工の架設が本年度末に完了する見込みであり、平成30年度末の開通を目指します。

### (2) 木造住宅耐震化促進事業

高知県の住宅の耐震化の加速化方針を受け、耐震診断事業、耐震設計及び耐震改修事業に積極的に取り組みます。

### (3) 統合簡易水道事業

当初平成28年度で事業が終了する予定でしたが、1年延長となり最終年になります。主に一区から四区の配水管を整備し、新浄水池・配水池の本格運用を目指します。

### (4) 新庁舎の建設

庁舎建設予定地の河川との境界は確定いたしました。今後は、地質調査・基本設計に取り組めます。

### 教育の振興

#### 「郷土に誇りを持ち心豊かでたくましい人づくり」

保育所では、小学校との連携をもとに園児一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を引き続き進めます。

学校教育では、既に児童・生徒において明らかに学ぶ姿の変化が起きています。今までの課題とされてきた思考力や豊かな表現力、判断力などの弱さの克服に向かっています。

新たに本年度から、小学校4年生から6年生まで、スタディアプリを活用した加力学習を学校内において取り組むこととしています。

また、総合的な学習の時間をはじめ、全ての教科等におけ

る探究的な学習の充実を進めています。

「郷土に誇りを持ち心豊かで たくましい人づくり」という教育の目標達成に向け、幼児期から18歳までの連続性・系統性を重視した「本山町連携教育推進事業」を推進すると共に、嶺北地域の中高一貫教育の推進を基盤にした人づくりに取り組みます。

社会教育は、「住んで良かったと思える町づくり」を基本理念に、住民が地域の課題を自分自身の問題として捉え、解決していくこうとする意識の醸成を図ります。

今年の9月11日から12日には「笑顔つなぐ愛媛国体」が寺家カヌー競技場において開かれます。本町としても今後積極的に協力します。

### その他

#### (大原文学館および周

### 辺歴史資源の磨き上げ

3月4日に、志国高知・幕末維新博のオンラインングセレモニーがあり、二年間にわたり県下23会場で開催が行われます。

本山町では来年度の維新博第二幕へ向け大原文学館と周辺歴史資源の磨き上げを行い地域会場の取り組みを進めたいと考えています。

### (三愛石油との協働の森調印)

平成20年より協定を結んできた協働の森は、町有林の間伐や作業道の開設に資金提供をいただきました。

3月10日には、尾崎知事・三愛石油金田社長ご臨席のもと向こう3年間の協定を結ぶ、4回目の調印式が行われます。

※施政方針の全文は本山町ホームページで見ることができます。

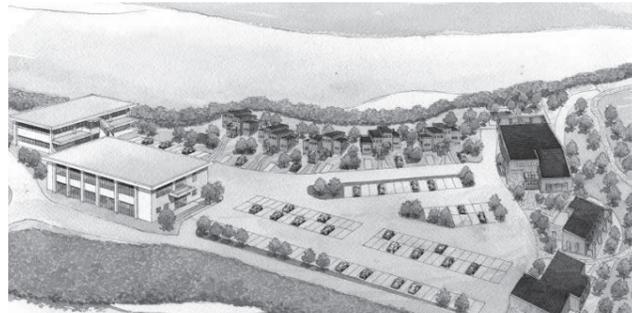


河邑一雄 議員

建設場所は、財源問題も含め検討の余地はあるので、四季菜館場所と特定せずさくら市周辺地域として検討する。

四季菜館敷地を対象に、今後も地質調査、基本設計等の作業を行うのか。建築コスト、周辺整備、造成費など比較検討し、住民会議の声も聞きながら慎重に進めていくべきだと思いが考えを問う。

### 新庁舎の建設は柔軟に検討を



▲アウトドアアビレッシュ完成イメージ図

### アウトドア計画が進んでいるが協議会を設置する

拠点施設整備の実設計を2月に入札、契約し8月末までを設計期間としている。町内の体験、交流活動を実践している団体、汗見川、行川の活動組織、商工会、観光協会等と拠点事業、交流活動について意見交換を実施してきた。更に連携を進めるために協議会を設置予定である。嶺北4町村の広域連携では、サイクリングコースの設定、登山ガイドの作成などを具体的に進めていきたい。

当初予算に大きな事業費が計上され各種団体との協議が進められているとのことである。しかし、住民にはパンフレットのみで具体的な内容は知らされていないのでは。現在の状況を問う。



▲林業施業者等にも大きく影響している坂瀬地区

### 災害復旧を急げ坂瀬は1年を目途に

屋所の山腹崩壊への対応状況と、被災後4年余りを経過した県道坂瀬吉野線坂瀬地区は林業施業者等にも大きな影響を与えている。対応状況を問う。

屋所立野の迂回区間の安全確保のため、カーブミラー、ガードレールの整備を進めている。坂瀬地区は、山側を暫定的に広げて通行を確保し、平成30年2月完成を目指して、本年度中に入札予定と聞いている。



宮田俊一 議員

### 守られているのか地方自治 住民自治・福祉の向上にまい進

地方自治体の長は住民の意思に基づき、事務を行うと地方自治法に示されている。先日の、プロポーザル方式での定住促進住宅建設計画では、必ずしもこ

の趣旨が守られていないか。町長の所見を問う。憲法を重視し、地方自治の本旨に基づいて、住民自治・福祉の向上に向け取り組んでいく。



▲寺家公民館

### 急げ耐震対策 順次講じる



本山町指定避難施設の耐震施工は、三山の池、寺家地区公民館の防災対策は。

本町は29カ所を避難施設に指定している。順次耐震対策を講じていく。寺家公民館についても定住促進事業等の導入し整備を検討していく。三山の池について、改修の経緯、今後のスケジュール、整備手法等について3月2日に水利組合を主とした地元説明会を開催している。



▲本山保育所

### 保育所の二園化は現状では考えていない

子ども、子育て支援制度とは。定数を超えていることから、分割し二園化する考えはないか。

平成24年「子ども・子育て関連3法」が成立。本町においても「次世代育成支援後期行動計画」を策定して安心して子育てができる取り組みを進めている。現在、分割二園化は考えていない。



大石教政 議員

【答】高齢者や子育て支援などに総合的に取り組み、2060年度の2600人の住民数を維持する人口ビジョンを達成していく。「PDCA」シートにより進捗管理を行っている。

地方創生総合戦略は人口ビジョンの達成を  
【問】地方創生総合戦略の課題・取り組み状況は。

### 保育の充実で子育て環境を 保育士と協議をしながら



澤田康雄 議員

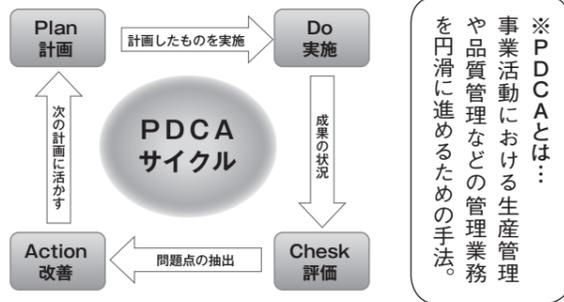
【問】保育士の増員や保育予算の増額を住宅政策と並行し人口対策の柱とすべきではないか。  
【答】本町では待機児童を出さない政策を維持してきているが、現状を見ると出生者数等、保育需要の見通しが甘かったのではないかと。本町では待機児童を出さない政策を維持してきているが、現場の保育士とは協議をしている。職員採用は計画的に実施をしていきたい。本町の出生数は昨年は25名、本年は20名ほどと予想される。(教育長)



▲子育て支援センターとして活用（保育増築箇所）

### 今後の財政運営の見通しは一定目処は付いている

【問】今後の財政運営、特に地方交付税の動向と今後の課題は。



※PDCAとは… 事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進めるための手法。

【答】国は、平成30年度までを期間とした中期財政計画を定めている。この期間内は、同水準の財源確保が見込まれる。今後、公債費の償還増や嶺北広域行政組合への負担増が予測されることから慎重な財政運営に努めたい。



▲旧大豊園

### 教職員の労働時間は調査していない

【問】調査では、週60時間以上勤務する者が小学校で73%、中学校では87%と、教師の長時間勤務が問題になっているが、本町の現状は。ストレスチェック等対応は適切に行われているか。  
【答】教職員の労働時間の調査はしていない。必要と判断した労働について過剰な労働とならないよう現場でチェックが行われていると聞いていますので問題ないと認識している。本年度よりストレスチェックを実施している。町内教職員41名のうち37名が受け、高ストレスは無いと報告を受けている。

### 高齢者等交通弱者対策を問う 29年具体的な協議の場を検討

【問】高齢者の多い本町ではバス路線の再編にも伴い移動手段の確保が求められている。対応は。  
【答】65歳以上を対象に移動手段等のアンケートを実施した。今後、課題を整理し、必要な対応を図りたい。



### 大豊園施設は適切に対応中

【問】大豊園の現状と今後、職員の進路は。

【答】入所者は3月26日に天空の里に転所する。正職員17名は広域内への異動7名・勧奨退職3名・自主退職6名・整理退職1名と聞いている。建物は大豊町が責任を持って対処する。土地は実勢価格で大豊町が買い取る。取得当時の費用分担保で各町村に配分する。

### その他の質問

【問】新たな集落活動センターは。  
【答】可能性のある地区は積極的に推進したい。

【問】広域観光の連携は。  
【答】嶺北地域のアクションプランに位置付けられている。本年度、棚田めぐり、沈下橋から汗見川へ向かうサイクリングロードのルート設定をした。

【問】TPPの影響等は。  
【答】先行きが不透明な状況にある。

【問】愛媛国体力ヌー競場（寺家会場）への支援は。  
【答】リハーサル大会6月10、11日。本大会9月9、12日に開催。運営ボランティアやプラントアでの花栽培提供を計画している。



▲えひめ国体をPR（みきゃん）



▲職員会（本山小）

【問】捕獲した鳥獣の食肉利用を積極的に進めるべきでは。  
【答】保健所許可、加工の問題などハードルが高い。  
【問】町職員の有給休暇消化は。  
【答】職員の消化率は50%（10日）。



中山百合 議員

### 本山保育所の現況は規定職員数は満たしている

**問**現在の園児数109名に対して職員数は足りているか。  
正規調理員1名体制での離乳食やアレルギー対応は難しいのでは。

**答**正規・臨時職員を含め規定数は満たしている。  
給食調理員は、正規職員1名、栄養士の資格をもった臨時職員2名、補充員1名、計4名で対応。アレルギーへの対応は適正に行っている。  
今後も計画的な職員採用に務める。



▲美味しい給食、作りゆうきね（本山保育所）

### 移住促進に補助金制度の活用を今後の動向見て考える



▲お試し住宅（四区）

### 行政執行に対する総括と反省点は様々な課題が計画的に進んでいない

**問**移住促進策に、空き家を改修してはどうか。建築工事、資材供給で地域の活性化にもつながると考える。国、県の補助金制度活用を検討すべきではないか。

**答**平成27年度、屋敷地区で町が譲り受けた住宅1棟を、平成28年度には、県より払い下げられた天神前の旧官舎8戸を整備。上町公園近くでも寄贈された住宅をお試し住宅として整備し、この4月より利用可能となる。

**問**町長の任期も残すところ10か月。自らの行財政運営の総括と、反省点は。5期目続投の意思は。

**答**総合福祉施設の開設等では一定の成果はある。嶺北地域の福祉資源として将来にも機能することを期待している。  
しかし、ここ数年大きな事業が集中していることから、これまでの間、計画的な事業執行が図られていたかについては反省点が残る。  
地方創生と産業振興計画をさらに前進するため、許されるならば引き続きチャレンジしたい。

### 特産品の展示・試食会の開催をさくら市で多くの品を展示・販売中



長瀬美和 議員

**問**試食については、既存の産業文化祭、土佐の豊稈祭などで、企画の一つとして生産グループに呼びかけて試食コーナーを設ける方法など、検討したい。  
新たに、ヤーコンによる新商品の開発に取り組んでいる。ポップ等の勉強会については検討する。

**答**町内の加工品、特産品を広く知ってもらう、展示・試食会を開く考えはないか。  
新たな特産品開発は。



### 災害発生時の支援対策は運営マニュアルを作成

**問**災害時の避難所などの運営方法の周知が必要ではないか。

**答**適切な対応を図るため計画と訓練が必要である。  
自主防災組織との協議で避難所運営マニュアルを作成する。  
昨年、防災の日訓練には984名が参加し、各地区と本部の通信訓練（デジタル簡易無線機）、消火、吹き出し訓練等16地区で実施した。

### 忠霊塔の維持管理は遺族会・各地区の輪番制で



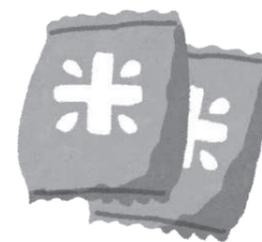
▲平和の大切さを学ぶ忠霊塔（帰全山）

**問**平和の大切さを学ぶ場であり、若い世代への引き継ぎ対応は。

**答**現在、遺族会、各地区の輪番制で清掃が行われている。



▲ふるさと納税パンフレット



**問**ふるさと納税の返礼品は。  
**答**本町では、浦臼町の商品を含め、56商品から選べる。「ふるさとチョイス」にも掲載し、更に充実を図る。

### その他の質問



細川博司 議員

**問** 定住住宅建設では、予め理解を得る手立てが足らなかったと反省している。新年度に着手する市街地再生では、関係者による準備会を設け、町民の参加、国の専門家の支援も得て検討していく。

**問** 町民の理解を得る手続きが不十分で事業の停滞を招いたと指摘する。重要な施策の計画・実施には町民参加の協議会等での合意形成を図るべきではないか。

### 住民参加の意思決定を市街地再生準備会から



### アウトドア施設を活かせ組織運営会議で

**答** モンベル会員（全国70万人）情報誌を活用しての本町の景観・特産品等魅力の発信に努めたい。指定管理者・県・町による組織運営会議設置に向けて調整中。

**問** 本山の魅力を全国に届け、経済的効果を産み出す方策は。施設の管理組織の設置は。



▲事業を開始した「天空の里」

### 移住促進策に保育の充実を町長と共に努力



上田亜矢子 議員



▲充実した子育て環境を

**答** 子育て中の移住者の方から、保育所や学校を見て移住を決めたという嬉しい声も聞かれる。現在、保育所は厳しい状況にあるが、早期改善に、町長と共に努力していく。（教育長答弁）

**問** 子育て世代の移住者にとって、保育所は重要な選択事項である。保育環境を更に充実させ、移住者を呼び込む目玉にしてはどうか。

### 嶺北中央病院経営計画は五本柱で取り組む

**問** 嶺北中央病院の第三次経営健全化計画について聞く。

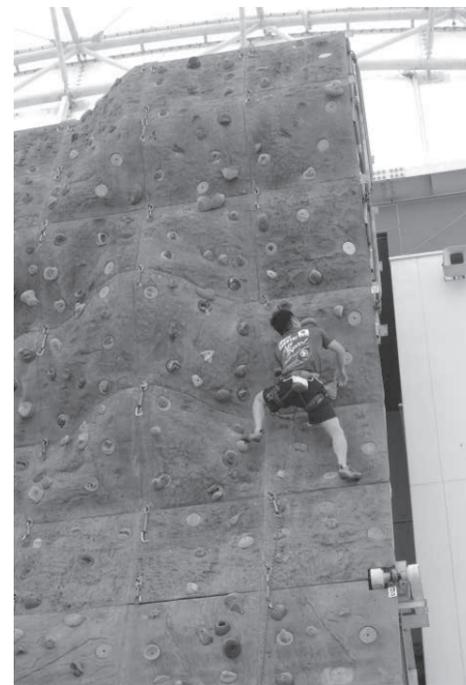
**答** 総務省からの新公立病院改革ガイドラインに基づき策定した。計画の基本は、  
① 地域包括ケア病床へのさらなる転換。  
② 人口減少に伴う、病床数の減少。  
③ 救急告示病院、外来体制、訪問診療、検診、在宅医療等の継続強化。  
④ 経常収支の黒字化。  
⑤ 現在の病院経営形態の継続。  
また、48項目の施策を定め、実行責任者も明らかにして取り組む。

### 福祉サービスはどう守る責任ある対応を

**問** 香南会が行う介護サービスの提供に町と住民の意思がどのように反映されるのか。社会福祉協議会の体制は。

**答** 天空の里は「施設運営支援委員会（香南会・健康福祉課長・病院事務長・総務課長・包括支援センター長等構成）」を設置し、住民・行政の意思が生きる運営を図る。社協は「参加と協働」を基本に運営し、人材面では町も責任ある対応を果たしたい。

### アウトドア構想説明会を理解を得るよう開催する



▲クライミングセンター

**問** 県も総事業費の約60%の補助金を予算計上し、大いに期待している。この事業の成功には、住民の理解と合意が不可欠である。説明会を開いてはどうか。  
**答** この取り組みに住民の皆様の参加・協力を得て、本町の活性化を図りたい。事業者を招き、施設整備による地域振興への可能性を実感していただけるような説明会を開催する。

### その他の質問

**問** 新高知県広域食肉センターの嶺北誘致を畜産振興策に。  
**答** 販売機能を含めた総合施設を想定。位置は県中部が適当であるが、今後の検討に。

**問** 移住相談窓口の充実を。  
**答** 移住促進サポート12名が活動中。

**問** 就農者支援策の拡充を。  
**答** 今年度、農地利用権設定の面積下限条件を廃止するなど改善を進めている。



▲特産振興の要 土佐あかうし



岩本誠生 議員

### 何度も提案 新庁舎の 位置 嶺北荘跡地も 検討

**問** 新庁舎の建設位置にこれまで嶺北荘跡地を加えるよう求めてきた。庁舎検討委員会答申書は適地を「さくら市横」としたが、財政面等を考慮し柔軟性をもって対応することが望ましいとも明記されている。町長の所見を聞く。



▲人口増対策に住宅建設を（吉野中学校跡地）

**答** 指摘のとおり柔軟な対応でさくら市周辺に嶺北荘跡地を加え財政・防災面等を比較検討し、適地を早期に示したい。

### 目指す町政運営は 住民・議会と共に



永野栄一 議員

**答** 総合創生戦略を加速推進しながら居住に必要なインフラの維持を図る。住民や議会には施策の内容を早く深く伝え、共に考えてゆき「シンプルにまとまった、災害の少ない、住みやすい町づくり」を目指したい。

**問** 本町には過疎や高齢化などの多くの問題が山積しているが、町長の目指す町政運営を問う。



▲防災にも活用フリー Wi-Fi

### 公衆無線 LANの 整備計画は 3カ所に 整備予定

**問** 総務省は、防災Wi-Fi整備を行う制度を設けて、29年度に予算計上をしているが、本町の対応は。

**答** 平成29年度から31年度を期間とした制度であり、整備・維持管理費を確認後、役場、プラチナセンター及び避難所1カ所に整備したい。

※公衆無線LANとは…無線LANを利用したインターネットの接続を提供するサービス。

### 社協で地域福祉 防災活動を 補助制度 活用で検討

**問** 火災警報器の点検、家具の転倒防止、通電火災防止器の設置等を社協に業務委託し、高齢者への防災・減災対策の充実強化を推進すべきだが、所見を聞く。

**答** 社協への委託業務に、地域福祉防災対策を含めるよう対応をしたい。通電火災防止器については新規事業であり、補助制度を活用して実施の方向で検討する。

### 物品管理は適切か 状況を確認し対応



**問** 農業公社に委託している町有財産の管理は適切か。

**答** 農機具等は指定管理契約の際、協定書を交わし管理を委託している。機材使用料算定基準は確認し、直近開催される理事会に提案する。

### どうなった 本山城復元 計画 取り組む

**問** 実行委員会を立ち上げたの取り組みが実現していないが。本山城談会の復興や城山の整備も含めて、早急に積極的な対応を求めたい。

**答** 本山城復元については、歴史的にも観光的にも効果があることから、取り組みを進めて行く。史談会の活動についても支援する。

**その他の質問**  
**問** 連携中枢都市構想での高知市との連携は。  
**答** 本年12月を目途に協議することになっている。



▲農業公社農機具



▲見守りにも利用 防犯カメラ

### その他の質問

**問** 人口増対策の住宅建設地として吉野中跡地の活用を。  
**答** 住宅建設計画予定地に入れている。

**問** 町内に防犯カメラの設置を検討してはどうか。  
**答** 条件等研究する。

**問** 義務教育における負担の軽減対策を。  
**答** 来年度、制服の補助等の検討を行う。

# よりよい町づくりのために調査しました

## 総務常任委員会

1月31日

### 嶺北中央病院の経営状況に関する調査

事務長から説明を受けた。

(1) 平成28年度12月までの収益は10億359万8千円、費用は10億536万5千4千円、収支では500万5千6千円の赤字で、昨年と比べ約6500万円のマイナス。大きな要因は人口減少等に伴う入院患者数の減少。

(2) この間の取り組みは、来院者獲得のため接遇研修の実施、救急患者受け入れのため嶺北消防署との協議、産業文化祭での広報活動、外来担当医師表の配布などを実施。

(3) 29年度の病床数は、

全体111床から、2階一般病床を59床から55床に、3階療養病床を52床から44床の合計99床に削減する予定。

(4) 来年度の常勤医師の状況は、内科医5名、外科医1名となる予定。整形外科医は非常勤になる。

(5) 医師住宅は昨年に引き続き2戸改修。本年3月末の完成予定。29年度の普通建設工事は、2



▲改修中の医師住宅

階3階のベランダ防水工事を計画。今後は大きな工事の予定はない。

委員から、人口減少で外来入院患者の減少はある程度仕方なく、適正な規模で病院機能の確保や、どうすれば地域で果たすべき役割を維持していくのか考えていくべきなどの意見が出された。

他にも、病床数削減に伴う看護師数や、医師住宅の改修などに意見や質問が出された。

また、医師確保は県内の大規模病院でも苦慮しており、当院においても医師確保が大きな課題で、当直勤務にも支障が出かねない状況にあることが分かった。

## 産業土木常任委員会

2月17日

### 町内の国道・県道・町道等の状況と今後の整備計画に係る調査

建設課長から今後の復旧計画と町内の国道・県道・町道等の状況について説明を受けた。

町道屋所線不通による迂回路は立野経由になるが、診療所に月に一度通う人が2、3人おり、行政側で送迎予定。買い物は、通販や移動販売で対応。復旧工事は、早期の着手は困難だが関係機関と調整。

国道439号田高須工区はまだ数年掛かり、井窪は工区設定が出来ていない。国道の本町分は大車両が通行しづらい箇所もあるが、改良済みで予算が付きにくい状況。県道磯谷本山線渡津工区、東大橋北詰の改良、坂瀬吉野線の通行止め箇所は29年度から工事着手。田井大瀬線は部分的な維持改修を実施。町道の舗装は補助金や交付金がないと出来ない状況。



▲渡津



▲田高須工区

### 早明浦ダム利水放流管放流に関する調査

1月31日

## 水資源対策特別委員会

町長、政策企画課長から説明を受けた。今回の利水放流管放流は、選択取水装置の改修と発電装置点検のため実施。

昨年11月17日確認された異臭は、早明浦ダム貯留水が攪拌されず、下部層の酸素が少ない匂いのある水が吸い出され下流部において異臭が発生。同日の下流の水質検査で



▲護岸工事

は重金属類は検出されず、水中酸素量も基準値を上回っていた。下流域でのその後3回の水質調査でも有害物質は検出されていない。昨年11月16日から利水放流管放流で水位を低下させ、2月22日からは水位を上げていく計画で、池田ダムで必要な水の確保のため間欠放流を実施。

委員からは、土佐町ではいち早く説明会を開催したが、本町では開催されず対応に差が感じられる。水資源機構が、住民に周知しなかったことは問題で、下流への情報伝達が遅くならないようにとの意見が出され、執行部は迅速な対応を水資源機構に申し入れると回答があった。

### 高知県吉野川河川整備計画に関する調査

建設課長から説明を受けた。

寺家親水護岸工事は、入札不調。

委員から土佐本山橋まで工事延伸の要望が出された。

また、土佐町中島地区の築堤工事着手時期は明らかになっていない。この工事により本町にも影響が及ぶことから、早期の説明会の実施を本山事務所に申し入れる。

### 吉野歩道橋架橋に関する調査



▲歩道橋工事

建設課長から説明を受けた。

現在下部工を発注。社会資本整備事業費の予算状況にもよるが、下部工に引き続き上部工も実施したい。

旧吉野橋の撤去は、歩道橋完成後の渇水期でないと実施できない。

## 編集後記

石楠花やぜんまい、いたどりなど次々と出てきました。田植えの準備などで棚田も景色が変わりました。

議会だよりでも季節にあつた写真、レイアウトを工夫しています。

紙面を通して、本山町の解決が迫られる課題・将来への展望など、住民の皆様にご理解、共有頂ければ幸いです。(大石)

広報編集常任委員会

